

# 日野市の各小学校で ボランティアを募集します

各小学校において地域の方々のボランティアを募集します。ボランティアをしていただく分野は学習支援、環境整備支援、登下校の児童の見守り、学校行事の支援の4つの分野があります。

- ① 学習支援の例としては、家庭科の授業実習や本の読み聞かせなど、先生の指示の下で地域のボランティアの方が補助をして、子どもたちの手助けをします。
- ② 環境整備支援の例としては、学校の花壇の整備やビオトープ、校内の修繕などがあります。
- ③ 登下校の見守りは、子どもたちの学校と家との行き帰りの際の交通安全や不審者からの見守りをします。
- ④ 学校行事の支援の例としては、運動会などの校門付近の交通安全や自転車置場の整理などがあります。



各学校により募集するボランティアは異なりますので、詳しくはお近くの学校または生涯学習課までお問合せ下さい。

(学校支援地域本部事業)

## 平成23年度

# 日野市家庭教育学級

家庭教育に関する学習を促進するため、各学校の担当者が中心となり、企画・運営している事業です。

毎年、学校の先生方や地域の方々にもご協力・ご参加いただき様々な内容の学級を実施しています。今年度も保護者の方々の積極的なご参加・ご協力をお願いいたします。

【問合せ先】生涯学習課



## 自然への入口

郷土資料館は、日野の歴史や自然について、展示や学習会を通して来館者に伝えていきます。そんな資料館の活動は、さらに奥に広がる世界への入口に過ぎません。例えば、展示で紹介された場所に向いてみると更に興味が深まるでしょう。ここでは自然について展示と屋外の両方で楽しめる資料館活用例を紹介します。

■テーマを絞って植物を見る  
資料館に集う市民ボランティア「七生丘陵調査団」の植物好きな方々が、植物の写真を撮影し、植物の種を収集し乾燥させて標本にしました。それらの写真や種を、資料館では展示しています。野外では、ちようどよいチャンスを見つけて見ますと種はどこへやら、新しい命になるために旅に出てしまいます。展示だからこそ、じっくりと種の標本を見ることが出来ます。しかし、「この木の実はどうな様子でなっていたのだろうか？どんな植物なんだろう？乾燥前の色や形は？」となると野外で得られる情報にはかき足りません。

テーマを絞ってみると、新たな植物の面白さに出会えることでしょう。



植物の種子の展示コーナー

## 郷土資料館

■大昔の日野に思いをめぐらす  
はるか大昔から百五十万年前くらい前には、日野を含む関東一帯は海でした。そのような昔の地層からはヒゲクジラ類の化石、少し陸化した時代にはアケボノゾウの足跡化石がどちらも多摩川で発見されています。多摩川や浅川では貝化石も数多く発見されて海だった頃の環境を伝えてくれます。展示では、それらの化石を苦労なく見ることが出来ます。野外では稀にしか化石は見つかりませんが、大昔の砂の上に立ち、地層の重なりや拡がりを見て、この場所が大昔の海だったのかと想像をめぐらすのもいかがでしょうか。さらに、埋もれた状態の化石に出会えれば幸運ですね。

開催中の企画展「七生丘陵の自然とくらし 2011」(7月10日まで)は、植物や野鳥の写真や種子、クジラや貝の化石、モズのハヤニエの標本、ダイヤモンド富士の夕日写真など、日野の自然に親しめます。また、七生のどんと焼や、鎮守の森についてもパネルで紹介しています。



浅川平山産 ホタテガイの一種

【電話】592-0981

【会場】日野市郷土資料館

## 第2次

# 日野市子ども 読書活動推進計画

平成18年の第1次日野市子ども読書活動推進計画に続くものも読書活動推進計画に続くものです。学識経験者2名、公募市民3名を含む16名の委員により、10回の会議とパブリックコメントによりまとまりました。

第1次計画の成果を基礎に、子どもに関係する機関との連携をより強め、また、児童・生徒・青少年や地域の人材が自ら、読書活動を進めるよう取り組みます。

●子供向け、ヤング向けの資料の充実を進めます。

●年齢別の絵本リストを図書館が作成し、健康課の3ヶ月健診時や保育園などで配布します。

●児童・生徒向けの地域学習に活用できる資料を作成し、自分たちの住む地域について、より一層理解が進むようします。

●第1次でのヤングスタッフを引き継ぎ、同世代へ読書の楽しさを伝える活動を行います。●関係課と連携し地域のお話や読書に関わる人材がより活躍できるよう支援します。

計画は、各図書館、図書館ホームページでみる事が出来ます。

【問合せ先】中央図書館  
電話586-0584

# 春休み 小学生集まれ！ わくわく学習術

中央公民館

教育センター内にある中央公民館高幡台分室で「春休み・小学生集まれ！わくわく学習術」を去る3月29日(火)と30日(水)の2日間で開催しました。

「春休みに学校では教えてもらえないことを学ぼう！」を合言葉に毎年行っている小学生を対象とした人気の講座です。今回は「日本の最新技術を知ろう」をメインテーマに実施しました。

一日目午前の「がいこつモーターを作ってみよう」では、銅線を巻いてモーターを作り、回転させました。初めはなかなか回らなかつたけれども、最後はみんなが回すことができました。午後の「蒸気機関車からリニアモーターカーまで」は鉄道車両の種類や動力などの話を興味深く、聞きました。

二日目午前は環境問題をテーマにした映画を上映し、午後の「人間の身体の中を見よう」では、超音波診断装置を会場内に設置しました。

人間には聞こえない2万5千ヘルツの音を体験し、外からは見えないゼリー状の超音波実用容器に入っている果物や、普段では見ることの出来ない人間の肝臓、すい臓、心臓、甲状腺などの臓器の映像をモニターで見、みんなびっくりしていました。

毎年、小学生が、このような新しいことを聞いたり、見たり、経験しながら、楽しく有意義な時間を過ごしています。

【問合せ先】日野市中央公民館  
高幡台分室(日野市程久保550番地) 電話592-0864

